

「桜を見る会」の招待者名簿の廃棄の真実性等に関する質問主意書

提出者 山井和則

「桜を見る会」の招待者名簿の廃棄の真実性等に関する質問主意書

内閣総理大臣主催の「桜を見る会」の招待について、その選定や対応が不適切かつ恣意的であったのではないかとの指摘があります。また、その検証を行うために必要不可欠である行政文書たる招待者名簿の保管等の取り扱いが適切に行われてこなかったのではないかとの指摘もあります。

そこで以下の通り、質問します。

一 内閣府では、「桜を見る会」の二〇一三年から二〇一九年の招待者名簿は廃棄しましたか。それとも、まだ廃棄されず残存していますか。もし廃棄したなら、それぞれの年の招待者名簿を廃棄した日付をあらわして示して下さい。

二 一について、廃棄した日付がわかる文書、書類はありますか。それぞれの年の廃棄の日付は、どのような方法で確認しましたか。また、その日付を、招待者名簿を管理している担当者からの聞き取りにより確認したのであれば、それぞれの年の招待者名簿をいつ廃棄したと当該担当者は回答しましたか。それぞれの年ごとにお答え下さい。

三 招待者名簿の作成に当たっては、電子ファイルが作成されており、そのファイルが廃棄された場合に

は、当該ファイルが保存されていたサーバーに廃棄された日付等の記録である「ログ」が残るはずですが、内閣府の招待者名簿が廃棄されたことを主張するのであれば、当該「ログ」は確認したのですか。また、その「ログ」には、それぞれの年の招待者名簿が廃棄された日付は、いつと記録されていましたか。

四 三について、それぞれの年の招待者名簿が廃棄されたことを示す「ログ」を公表することは可能ですか。政府の見解を示して下さい。

五 一について、それぞれの年の招待者名簿が、公文書の形でなく、内閣府の職員が組織的に用いるものではない文書として、実際に保有している可能性も考えられます。そこで、そのような文書も含めて内閣府の中で再確認していれば、招待者名簿が残存しているかどうかを回答して下さい。再確認しない場合は、その理由を回答してください。

六 二〇〇五年から二〇一九年の各年の「桜を見る会」の全体の招待者数と、そのうち「総理大臣等」が推薦したと分類されている招待者数を示した上で、その増減の要因について見解を示して下さい。

七 政府資料によれば、二〇一九年の「桜を見る会」の招待者で、「各界功績者（総理大臣等）」は八千八百九十四人とされていますが、その内訳、すなわち、総理大臣の推薦によるもの、自由民主党によるもの

などの人数を示して下さい。また、その内訳は、どのような方法で確認しましたか。その内訳の数字の根拠となる文書、書類をあわせて示した上で、二〇一九年の招待者数の半数を大きく超えていることについての見解を示して下さい。

八 七について、「各界功績者（総理大臣等）」の八千八百九十四人のうち、衆議院議員安倍晋三事務所から推薦のあった人の人数は何人ですか。衆議院議員安倍晋三事務所から推薦のあった人の功績の確認の方法とともに示して下さい。

九 「桜を見る会」に特定の者が連続して招待されることは、必ずしも適切ではないことも考えられ、招待者の確認の中で、その者の過去の招待実績についても確認する必要があると考えますが、その確認の方法を各府省ごとに示して下さい。

右質問する。